

また、時間外労働の罰則付き上限（960時間／年）の設定につきましては、適用まで若干の猶予期間はあるものの、現状を鑑みるに、法令遵守に向けては大幅な残業削減が求められることから、関係法令の周知徹底を図ると共に、労働生産性向上に関する講習会の開催を計画する他、削減目標値の設定や労働時間削減のモデルスキームの作成等、対応を検討してまいります。

【広報事業の推進について】

これまで、アニメCMの放映をはじめとするメディアを活用した広報活動の他、県内小学生児童を対象とした「私の街にこんなトラックあったらいいな」絵画コンクールや、イベント「トラックフェスタ」の開催等を通じ、地域住民や荷主企業に対する様々な業界PRを続けてきました。

また、東日本大震災発生時に会員事業者のご協力をいただき実施した「緊急物資輸送」の取り組みなども相まって、トラック輸送が人々の暮らしに身近で、極めて重要なライフラインであるという認識が広く定着しつつあることから、引き続きトラック運送業界を正しく理解していただくための取り組みとして、広報事業を継続してまいりたいと考えております。

また、本年は協会ホームページのリニューアルを検討してまいります。具体的には、若年層を中心とした閲覧数アップを狙いスマートフォン対応を進めるほか、リクルートに有効なコンテンツの制作等を進めてまいりますので、会員の皆様のご理解とご協力を宜しくお願い致します。

【政治的課題について】

再び高値で推移を続ける燃料価格の問題や、高速道路料金、自動車関係諸税など、業界を取り巻く課題の多くは、政治的決着が求められる項目が多数あることから、岩手県トラック政治連盟・政策研究会を中心に、東北トラック協会連合会や（公社）全日本トラック協会とも連携し、要望行動を継続する他、県選出の国会議員や県議顧問団との懇談の場を設け、業界の課題等について理解を求めてまいります。

以上、新年を迎え、協会長としての所信の一端を申しあげましたが、今後も「会員のための協会」を基本に、時代の変化に即応し、必要な施策をスムーズに展開できるよう進めてまいります。

また、協会運営の活性化に向けては、各地域、支部活動の充実が欠かせないと考えており、会員同士の結束を高めていけるような運営を併せて検討してまいりたいと考えておりますので、会員の皆様のより一層のご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

結びに、会員事業者及び従業員の皆様方の今後ますますのご繁栄・ご健勝を心よりご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。